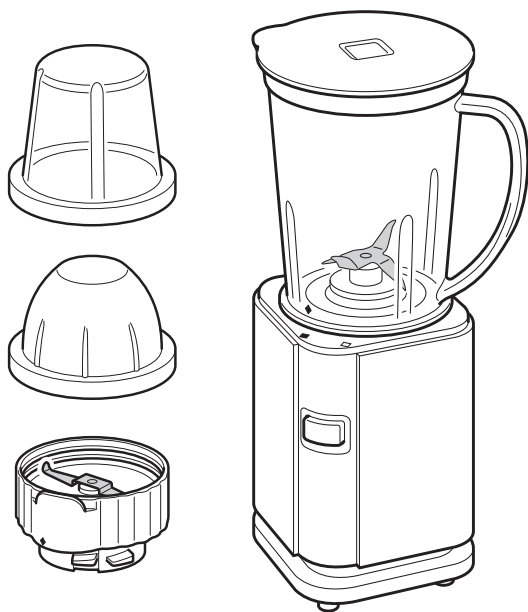


ミルミキサー KMZ-0401

取扱説明書 (保証書別途添付)

ご使用前に必ずお読みください。



目次


安全上のご注意	1~3
商品のご確認	4
仕様	4
ボトル/カップ台検知装置について	4
モーター保護装置について	4
ミキサーの使いかた	5~6
ミルの使いかた	7~8
お茶すり器の使いかた	9~10
お手入れのしかた	11
故障かな?と思われたときは	12
アフターサービスについて	13
お客様の個人情報のお取り扱いについて	15
お客様相談窓口	15


このたびは、コイズミ ミルミキサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、保証書は別途添付されています。お読みになられた後も、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

●特に1~3ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意

- ※ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ※ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

 **注意** 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



● 改造はしない。また修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



● 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

● カッター・回転部を露出したままで運転しない。
けがをする恐れがあります。

● 運転中にふたを開けたり容器の中へ指・スプーン・はし等、調理材料以外を入れない。
けがをする恐れがあります。





● 水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電の恐れがあります。





安全上のご注意

⚠ 警告

	<ul style="list-style-type: none">● ボトル/カップ台検知装置を細い棒などで押さない。 回転部が回転しけがをする恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねて使用したり、重い物を載せたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● AC100V以外では使用しない。(日本国内専用) 火災・感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。 ショート・火災の原因となります。

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 感電やショートして発火することがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● スイッチが切れていることを確かめてから、電源プラグを抜き差しする。 けがの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● 運転中に移動させない。 けがの原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

- 不安定なところやテーブルの端などで使用しない。
けがの原因となります。



- 40℃以上の熱い材料は、容器に入れない。
ふきこぼれによるやけどや、容器割れによるけがの原因となります。

- 運転中に容器、ふたの取り付け、取り外しは行わない。
けがの原因となります。



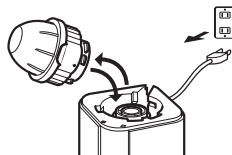
- カッターは鋭利ですので直接手を触れない。
けがの原因となります。



- 使用時以外は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。



- 部品の取り付け、取り外し、お手入れするときは、
電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。
けがをする恐れがあります。



- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
感電の原因となります。



- 熱湯で洗ったり、食器洗い機を使って洗わない。
変形する恐れがあります。



商品のご確認

商品がすべてそろっているか、確認してください。



仕様

	ミキサー	ミル	お茶すり器
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力	150W	—	—
定格時間	4分（4分間運転2分間停止5回まで）	1分（1分間運転2分間停止2回まで）	
回転数	18,000回/分（無負荷時）	—	—
コードの長さ	約1.5m		
定格容量	400ml	75ml（ウェットメニューの場合） 30g（大豆の場合）	12g
最大外形寸法	約138(W)×115(D)×280(H)mm	約100(W)×100(D)×255(H)mm	約98(W)×98(D)×235(H)mm
質量(本体取り付け時)	約1000g	約945g	約935g
付属品	レシピブック、ブラシ、取扱説明書（本書）、保証書		

ボトル/カップ台検知装置について

ミキサーをご使用になる前に、ミキサーボトルをしっかりと本体にセットしてください。正しくセットしないと、検知装置が働き、モーターは回転しません。ミル/お茶すり器をご使用になる場合は、ミルクカップ/お茶すりカップに材料を入れた後、カップ台をしっかりと取り付け、本体にセットしてください。正しくセットしないと、検知装置が働き、モーターは回転しません。

モーター保護装置について

材料の入れすぎなどでモーターに負荷がかかると保護装置が働いて運転が止まりますが、故障ではありません。その場合は以下のようにして直してください。

1. 電源プラグを抜く。
2. 材料を半分に減らす。
 - カッターのまわりに材料が付着しているときはヘラなどで取ってください。
3. しばらくしてから（20～30分）電源プラグを入れて運転を開始する。

以上の処置をしても、たびたび運転が停止するときは、お買い上げの販売店又は小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。

ミキサーの使いかた

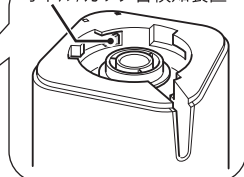
各部のなまえ

ミキサー

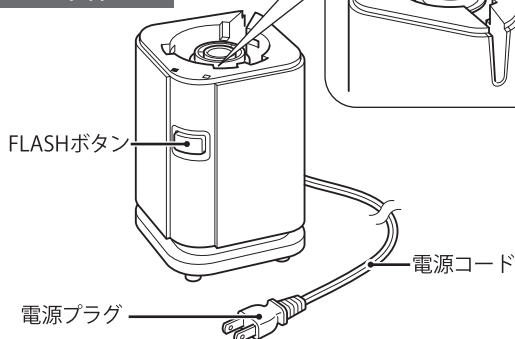


ミキサーボトル
(定格容量400ml)
※ 定格容量以上の
材料を入れて使
用すると、材料
があふれ出る恐
れがあります。

ボトル/カップ台検知装置



本体



禁止材料 ミキサー例

※故障の原因となります。

- 肉、魚類



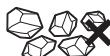
- ねばり気の強いもの
とろろいもなど



- かいもの、水分の少ないもの、乾物類
大豆、冷凍食品
※乾物類はミルをお使いください。



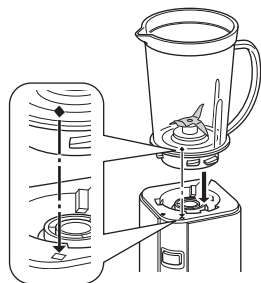
- 氷だけの粉砕



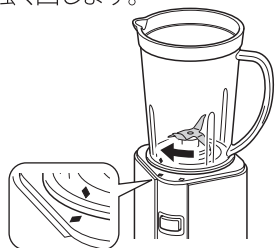
- 食材だけの粉砕 ※水分を適量入れてください。

ミキサーボトルの取り付け方

1. ミキサーボトルの◆印と本体の□印を合わせます。

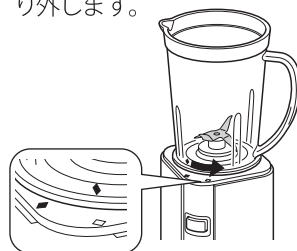


2. ミキサーボトルの◆印と本体の■印が合うまで、ミキサーボトルを矢印の方向に強く回します。



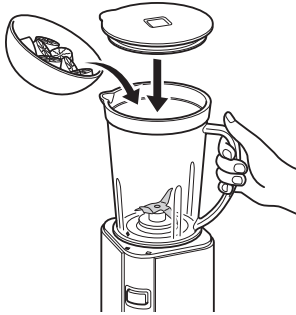
ミキサーボトルの取り外し方

- 本体を押さえ、ミキサーボトルを矢印の方向に回し、取り外します。



1

ミキサーボトルを本体に取り付け、材料を入れてふたをします。



材料を入れる順序

1 水分(水、牛乳など) → 2 やわらかいもの → 3 かたいもの(氷など)

お願い

- 水分を必ず入れてください。
- 材料は40℃以下に冷ましてから入れてください。
- 材料は2~3cm角に小さく切り、定格容量(400mℓ)以内におさめてください。
- 禁止材料は入れないでください。(P.5参照)

2

電源プラグをコンセントに差し込み、FLASHボタンを押して、作動させます。

FLASHボタンについて

- 押している間だけ作動し、離すと停止します。

作動しない場合

- ミキサーボトルの◆印と本体の■印が合うまで、しっかりと取り付けられているか確認してください。
- 材料の量を減らしてください。
(P.4「ボトル/カップ台検知装置について」、「モーター保護装置について」参照。)

お願い

ご使用の際には、必ず本体とふたを両手で押さえながら**FLASH**ボタンを押してください。
振動などによりふたが浮き上がったり、転倒の恐れがあります。



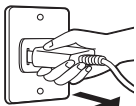
3

調理が終わったら、コンセントから電源プラグを抜き、ミキサーボトルを本体から取り外します。

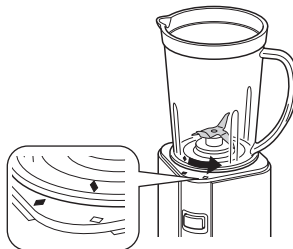


- 必ず、カッターの回転が止まってから、ミキサーボトルを本体から取り外してください。
- ふたを取り外す際、中身がこぼれないように注意してください。

- ① コンセントから電源プラグを抜きます。



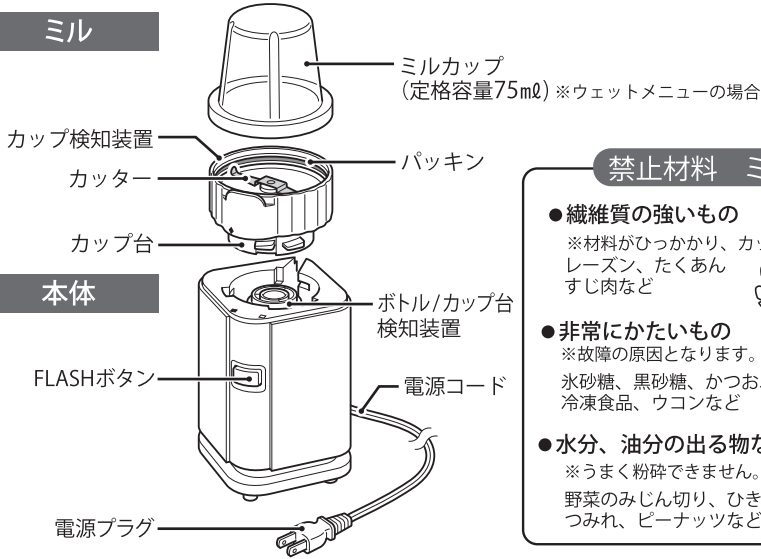
- ② 本体を押さえ、ミキサーボトルを矢印の方向に回します。



ミルの使いかた

各部のなまえ

ミル



禁止材料 ミル(例)

●繊維質の強いもの

※材料が引っかかり、カッターが回りません。
レーズン、たくあん
すじ肉など



●非常にかたいもの

※故障の原因となります。
氷砂糖、黒砂糖、かつおぶし
冷凍食品、ウコンなど



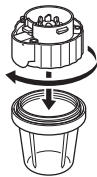
●水分、油分が出る物など

※うまく粉碎できません。
野菜のみじん切り、ひき肉
つみれ、ピーナッツなど



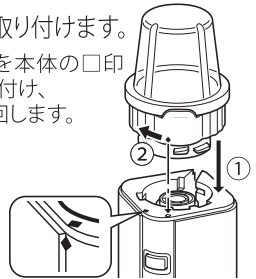
ミルカップの取り付け方

- 1 ミルカップにカップ台を取り付けます。
- カップ台を矢印の方向に回します。



- 2 本体にカップ台を取り付けます。

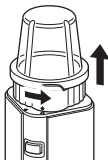
- ① カップ台の◆印を本体の□印に合うように取り付け、
- ② 本体の■印まで回します。



ミルカップの取り外し方

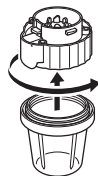
- 1 本体を押さえ、カップ台を取り外します。

- カップ台を矢印の方向に回します。



- 2 ミルカップを逆さまにして、カップ台を取り外します。

- カップ台を矢印の方向に回します。

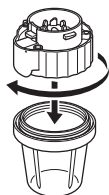


- ミルカップに残った粉末は、付属のブラシで取り除きます。(※ドライメニューの場合)

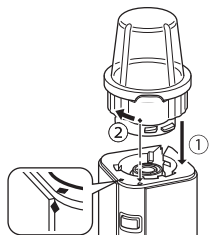


1 ミルカップに材料を入れ、本体に取り付けます。

- ① ミルカップに材料を入れます。 ② ミルカップにカップ台を取り付けます。 ③ 本体にカップ台を取り付けます。



- ミルカップを逆さまにして
- ① カップ台の◆印を本体の□印に合うように取り付け。
② 本体の■印まで回します。



お願い

- 材料は40℃以下に冷ましてから入れてください。
- 材料は2~3cm角に小さく切り、ミルカップの定格容量(75ml)以内におさめてください。(※ウェットメニューの場合)
- 禁止材料は入れないでください。(P.7参照)

2 電源プラグをコンセントに差し込み、FLASHボタンを押して、作動させます。

FLASHボタンについて

- 押している間だけ作動し、離すと停止します。
- 固い材料(大豆やコーヒー豆など)を調理する場合、細くなるまではFLASHボタンを長く押し続けしないでください。

作動しない場合

- ミルカップにカップ台がしっかりと取り付けられているか確認してください。
- カップ台の◆印と本体の■印が合うまで、しっかりと取り付けられているか確認してください。
- 材料の量を減らしてください。
(P.4「ボトル/カップ台検知装置について」、「モーター保護装置について」参照。)

お願い

ご使用の際には、必ず本体とミルカップを両手で押さえながら**FLASH**ボタンを押してください。
振動などにより転倒の恐れがあります。

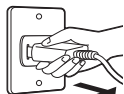


3 調理が終わったら、コンセントから電源プラグを抜き、カップ台を本体から取り外します。

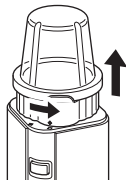


必ず、カッターの回転が止まってから、カップ台を本体から取り外してください。

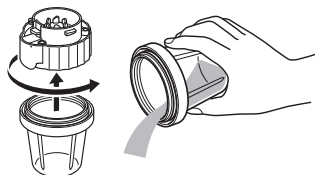
- ① コンセントから電源プラグを抜きます。



- ② 本体を押さえ、カップ台を取り外します。



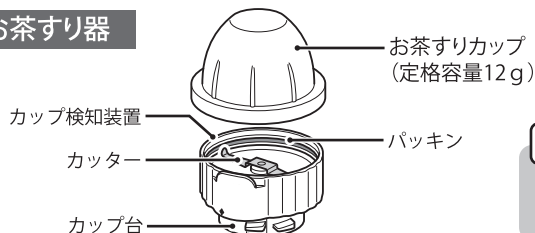
- ③ ミルカップを逆さまにして、カップ台を取り外します。



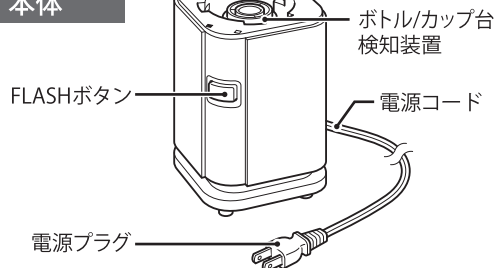
お茶すり器の使いかた

各部のなまえ

お茶すり器



本体



ご注意

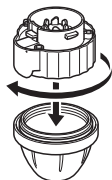
- ・お茶すりカップには、乾燥したお茶の葉以外は入れないでください。

使用例

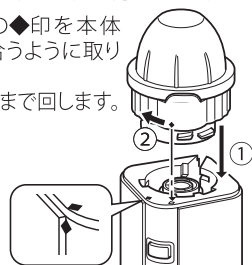
玉露、番茶、紅茶、煎茶、ほうじ茶など。

お茶すりカップの取り付け方

- 1 お茶すりカップにカップ台を取り付けます。
 - カップ台を矢印の方向に回します。

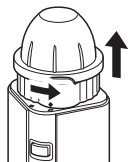


- 2 本体にカップ台を取り付けます。
 - ① カップ台の◆印を本体の□印に合うように取り付け、
 - ② 本体の■印まで回します。

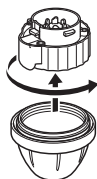


お茶すりカップの取り外し方

- 1 本体を押さえ、カップ台を取り外します。
 - カップ台を矢印の方向に回します。



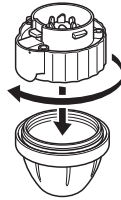
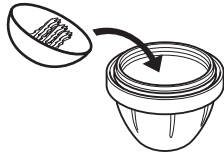
- 2 お茶すりカップを逆さまにして、カップ台を取り外します。
 - カップ台を矢印の方向に回します。
 - お茶すりカップに残った粉末は、付属のブラシで取り除きます。



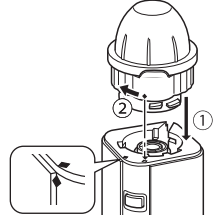
1

お茶すりカップに材料を入れ、本体に取り付けます。

- ① お茶すりカップに材料を入れます。
- ② お茶すりカップにカップ台を取り付けます。
- ③ 本体にカップ台を取り付けます。



- お茶すりカップを逆さまにして
- ① カップ台の◆印を本体の□印に合うように取り付け、
- ② 本体の■印まで回します。



お願い

- 乾燥したお茶の葉以外のものは入れないでください。
- 茎は取り除いてください。
- お茶すりカップの定格容量(12g)以内におさめてください。

2

電源プラグをコンセントに差し込み、FLASHボタンを押して、作動させます。

FLASHボタンについて

- 押している間だけ作動し、離すと停止します。

お願い

ご使用の際には、必ず本体とお茶すりカップを両手で押さえながらFLASHボタンを押してください。振動などにより転倒の恐れがあります。



作動しない場合

- お茶すりカップにカップ台がしっかりと取り付けられているか確認してください。
- カップ台の◆印と本体の■印が合うまで、しっかりと取り付けられているか確認してください。
- 材料の量を減らしてください。
(P.4「ボトル／カップ台検知装置について」、「モーター保護装置について」参照。)

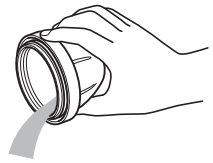
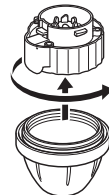
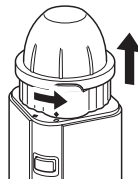
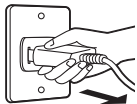
3

調理が終わったら、コンセントから電源プラグを抜き、カップ台を本体から取り外します。



必ず、カッターの回転が止まってから、カップ台を本体から取り外してください。

- ① コンセントから電源プラグを抜きます。
- ② 本体を押さえ、カップ台を取り外します。
- ③ お茶すりカップを逆さまにして、カップ台を取り外します。



お手入れのしかた

※必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

※ご使用後はお早めにお手入れしてください。

●本体

- ・やわらかい布で拭いてください。
- ・汚れがおちにくい場合は、中性洗剤か水をふくませた布で拭き取った後、乾いた布でもう一度拭いてください。

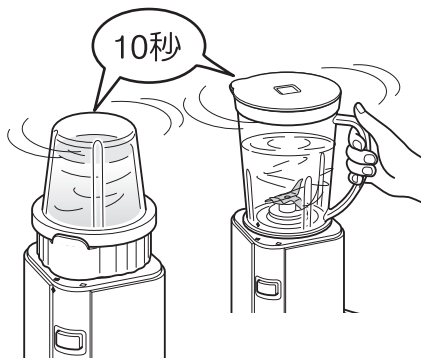


ご注意

- ・タワシ、みがき粉、ベンジン、シンナーなどでみがかないでください。キズ、ひび割れ、変形の原因となります。

●ミキサーボトル・ミルクアップ

- ・洗剤でよく洗い、水洗いをし、水気を取ります。
- ・汚れがひどいときは、水と洗剤を入れ、約10秒運転し、よく水洗いします。



ご注意

- ・カッターは鋭利ですので直接手を触れないでください。

●お茶すりカップ・ふた・カップ台

- ・洗剤でよく洗い、水洗いをし、水気を取ります。

ご注意

- ・熱湯で洗ったり、食器洗い機を使って洗わないでください。変形する恐れがあります。
- ・カッターは鋭利ですので直接手を触れないでください。



ご注意

- ・食材によっては、カップ台等に色移りする可能性があります。ご使用後はお早めにお手入れしてください。

故障かな?と思われたときは

こんなときには	原因	このようにしてください
途中で回転が止まってしまった。	<ul style="list-style-type: none"> ●材料を定格容量以上入れたり、使えない材料を使ったり、カッターに材料がはさまっている。 ●モーターに負荷がかかり、モーター保護装置が作動した。 	<ul style="list-style-type: none"> ①スイッチを切って電源プラグを抜いてください。 ②材料を減らしてください。使えない材料を取りのぞいてください。 ③きちんとセットして、しばらくたってから電源プラグを差し込んでスイッチを入れてください。 <p>※①～③の操作をしても、たびたび止まってしまうときは、お買い上げの販売店又は、小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●材料を減らして、20～30分後にスイッチを入れてください。(→P.4)
スイッチを入れても動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミキサーボトル・ミルカップ・お茶すりカップが本体にきちんとセットされていない。 ●ミルカップ・お茶すりカップがカップ台にきちんと取り付けられていない。 ●電源プラグがコンセントから抜けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●正しくセットしてください。(→P.5、P.7、P.9) ●正しくセットしてください。(→P.7、P.9) ●電源プラグをコンセントの奥まで差し込んでください。
水もれがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミルカップがカップ台にきちんと取り付けられていない。 ●カップ台のパッキンに傷がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ミルカップとカップ台をしめなおしてください。 ●新しいカップ台をお買い求めいただく必要があります。
空回りする。	<ul style="list-style-type: none"> ●材料を入れすぎている。 ●材料が引っかかっている。 ●水分が入っていない。(ミキサーのみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ●①スイッチを切って電源プラグを抜いてください。 ②材料を減らしてください。または、引っかかっている材料をヘラなどで取り除いてください。 ③きちんとセットしなおして、電源プラグを差し込み、スイッチを入れてください。 <ul style="list-style-type: none"> ●水分を1カップ程入れてください。

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき


- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ミルミキサーの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用のミルミキサーの点検を！	
	ご使用の際このようなことはありませんか？	▶	●電源プラグや電源コードが熱くなる。 ●容器から水が漏れる。 ●本体にさわるとときどき電気を感じる。 ●ときどき運転しないことがある。 ●運転中、異常な音がある。 ●本体が変形したり異常にあつい。 ●こげくさい臭いがする。
			ご使用中止 このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。

尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048 (718) 3340 FAX.048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3145 FAX.06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3211 FAX.06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2016年8月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)